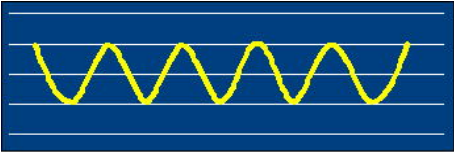

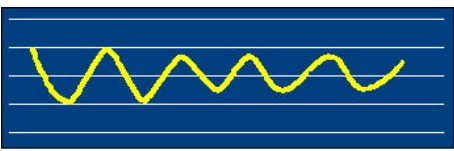
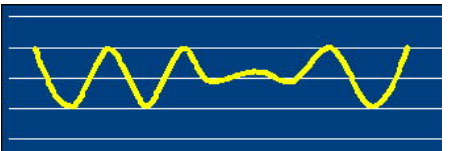
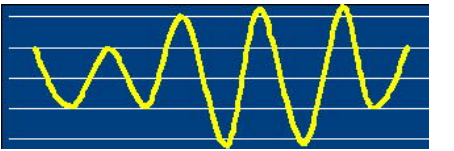
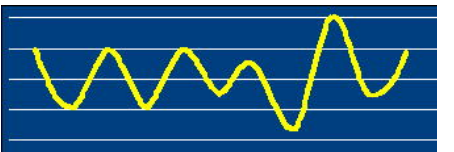
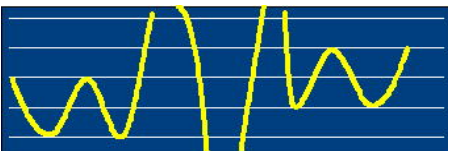
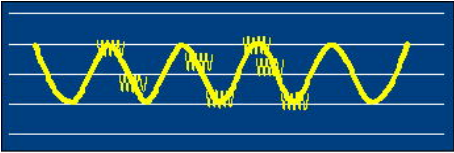
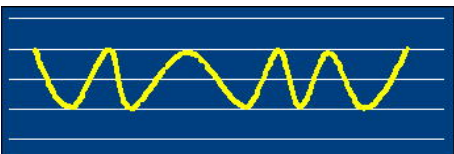


電源トラブルはどんなのがあるの？

トラブル名	内 容	正常な状態 
停電(ブラックアウト)	<p>いわずとした停電。日本では、ファイブナイン(99.999%)と呼ばれるほどの高いレベルで停電事故に備えています。それでも停電は、年に数回程度発生します。夏場など電力需要が大幅に増加し、電力会社の供給が不足した場合にも発生しやすい場合があります。</p>	
電圧降下 (ブラウンアウト)	<p>日本でいうと100V 以下に電圧が低下する場合。この電圧降下は停電に比べかなりトラブル頻度が高くなっています。例えば、レーザープリンタなど突入電流が高い機器を同じコンセントから取っている場合、レーザープリンタが立ち上げの時や節電(パワーセーブ)時から復電する場合、もう一方のコンセント側の出力が落ちるケースが多々あります。</p>	
瞬低	<p>電力会社は、長時間停電させないために送電経路を二重化しています。落雷などでメイン経路が遮断した場合すぐさまサブ経路に切替をします。その際、人では感知できない程瞬間的に電圧降下や停電することになります。電力トラブルで一番多いのがこの瞬低です。一般的なパソコンやサーバーでは、30msec(1/33 秒)の停電、瞬低でほぼ誤作動を起こします。特にハードディスクやストレージにアクセスしていた場合データ破損や、データ書き込みエラー(データが飛んでしまう状態)になります。</p>	
スパーク	<p>瞬間的に電圧が上昇すること。同じコンセントで動作していた大きな負荷の装置が突然停止した場合、もう一方のコンセント側の電圧が10%以上昇る場合があります。</p>	
電圧変動	<p>他の接続機器の影響、電圧降下、スパーク状態を繰り返す状態。</p>	
サージ	<p>落雷での、外部からの急激な電圧の上昇。雷が多い夏場、この事故も多発しています。</p>	

ノイズ	同じ電源系統でさまざまな機器が接続されている場合、電気機器のスイッチ ON/OFF、雷などで発生します。特に生産工場など装置の ON/OFF にてノイズが電源系統にのりトラブルになるケースがあります。	
周波数変動	発電装置にて電源供給されている場合、発電装置が不安定な場合、周波数が乱れる状態。	

つまり、停電だけではなくさまざまな電源トラブルがあり重要なシステムやネットワーク機器には、UPS は必須です。

夏場や、真冬になるといつの間にかハングアップやリブートしてしまう、プリンタ、コピー機が動作するとき、サーバー、ルーター、HUB の動作がおかしくなる場合があります。こういった時 電源事情が原因かもしれません。